

*マウナケア山頂、すばるの空を泳いだ鯉のぼり

筆者は大型光学赤外線望遠鏡「すばる」の建設期の1994年から2002年の8年間ハワイに滞在していた。その間、1週間に2~3度は標高4200mの山頂に登っていた。もう9年以上前の事になる。ふと机の引き出しの写真ファイルを眺めていたら、マウナケア山頂の紺碧の空を泳ぐ鯉のぼりの写真(写真1~3)を見つけた。



写真1

こんな鯉のぼりがマウナケア山頂を泳いだことを記憶している御仁もいないかもしれない。この企てを正式の会議に諮ったらおそらく拒否されたことであろう。この鯉のぼりを提供してマウナケア山頂のすばるで泳がせてほしいと筆者に託したのは、当時の台長秘書をされていた増山さんである。4200mのマウナケア山頂のすばるのドーム上を泳ぐこの鯉のぼりはさほど話題にはならなかった。誰かが突出したことをやるのは面白くないのが人の世である。しかしこの企てはなかなか面白いではないか。

当時、これ等の写真を日本のすばる室に送ったら「まるでメザシのようだ」と揶揄した御仁もいたとか。他人のやる目立つことはとかくこのように言われるのである。しかし、面と向かって止めろという人はいなかった。そしてしばらくはマウナケアの空を泳いだのであった。筆者がハワイを去る時、この鯉のぼりは当時の所長に託して帰ったが、その後、この鯉のぼりが泳いだという話は聞かない。こういった遊び心を好まない人種がいることも知っている。しかし筆者はひるまなかつた。



写真 2



写真 3 気象タワーでケック望遠鏡のドームをバックに泳ぐ鯉のぼり

写真 3 は、すばるのドームのてっぺんではなく、制御棟前の気象タワーをポールにして鯉のぼりを泳がせた時の写真である。はっきりした記憶にないが、気象タワーの方が最初に泳がせたと思う。

今となっては懐かしい写真である。こんなことをやっていた時代から10年もたってしまった。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp